

まさに生涯現役! シリーズしおがまの活気・元気 95



あべ いそお
85歳のメダリスト 阿部磯雄さん

10月17日から20日に開催された「第28回全国健康福祉祭やまぐち大会(ねんりんピックおいでませ!山口大会2015)」の水泳競技で、阿部磯雄さんが80歳以上の男子25[㍓]背泳ぎで銅メダルを獲得しました。このほかにも、50[㍓]自由形で6位入賞、競技参加者の中で高齢の方に贈られる高齢者賞も受賞しました。

現在86歳の阿部さんは、宮城県代表チームの中ではダントツの最年長。「県の代表として、そして最年長として、メダルを取ることを使命と思っていたので、表彰台上がった時は万歳をして喜びました。50[㍓]自由形でメダルを逃した悔しさから、25[㍓]背泳ぎでは絶対にメダルを取ろうと、気持ちが燃えました」と阿部さん。

阿部さんが水泳を始めたのは69歳の時。新浜町の自宅から徒歩5分の距離に塩竈市温水プール(ユープル)がオープンし、健康増進のために通い始めました。週5日欠かさずに通い続け、まじめで負けず嫌いな性格もあり、見る見るうちに上達したそうです。

体が衰えないようにと毎日続けてきた結果が、まさに「継続は力なり」となりました。

今後の目標は「ねんりんピックで金メダルを取ること!」と意気込む阿部さんに健康の秘けつを伺うと、「自分の体力に合ったスポーツを選んで、体を動かすことが大切」と教えてくれました。

皆さんも、自分に合った方法を見つけ、健康づくりをしてみませんか。

上)メダル獲得の喜びを市長に報告しました。(11月2日 市役所)
 下)週5日、歩いてユープルに通い、練習しています。



☎ 長寿社会課長寿支援係 ☎364-1204

景観コラム 『景観十年、風景百年、風土千年』

田園都市の面影残す「塩竈の都市景観」

梅の宮や長沢町周辺が、「文化村」と呼ばれていることをご存じですか。今もバス停の「文化入口」や「西文化」がそれを物語っています。

「塩竈文化村」は、「日本の公園の父」と呼ばれた東京帝国大学教授の本多静六博士と弟子で講師の永見健一学士が、東京の田園調布や大阪の千里山住宅地と同じ田園都市の思想に基づいて設計しました。大正15年から昭和初期に塩竈文化住宅株式会社が、知識人などの別荘や住宅地として約2



昭和初期の文化村

万坪を造成・分譲しました。

当時は、すべての通りや坂道に名前が付けられ、モダンな二階建てや洋館が建ち並んでいました。

現在も「一の坂」～「五の坂」の呼称や、当時の住宅が数棟残されており、往時をしのぶことができます。

現在策定中の「塩竈市景観計画」では、文化村を良好な景観形成の取り組みを誘導する地区に指定できないか検討しています。

田園都市の面影を探しながらこの周辺を散歩すると、これまでと違った風景が見えてきませんか。

【参考文献：塩竈市史別篇Ⅱ、資料篇Ⅱ、永見健一著「田園都市の近代的使命と塩竈文化村の価値及び其設計説明書」※宮城県図書館蔵】

☎ 都市計画課まちづくり推進係 ☎364-2510

防災行政無線で放送された内容を再確認したいときは、自動音声で放送内容を聞くことができます。

防災行政無線確認電話 ☎364-1260



エフエムベイエリア (FM78.1Mhz) でも防災行政無線の内容や防災情報を放送していますので、災害時にはラジオを活用ください。

【塩竈市の人口】 H27.10.31現在

住民基本台帳調べ (前月比)	
人口	55,603人 (-29人)
男	26,546人 (-7人)
女	29,057人 (-22人)
世帯数	23,038戸 (+11戸)